

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の効果検証(実施状況・評価)

総事業費:738,716千円 交付金充当事業費:386,038千円

(単位:千円)

No.	交付対象事業の名称	【実施計画事業概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施計画 計上事業費	事業 初期	事業 末期	総事業費	うち臨時 交付金	担当課	【効果検証】 ①実施状況・成果 ②評価
1	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	①②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付) ③34事業所×10万円(市町村協力金分) ④長野県(事業者へは県から給付)	3,400	R2.4	R2.10	3,400	3,056	産業振興課	①協力金給付事業所への支援 34件(1事業所当たり県20万円・町10万円の計30万円:町支給額3,400千円) ②休業要請に協力いただく中小企業・小規模事業者に対して、協力金を交付し支援することができた。
2	新型コロナウイルス感染拡大防止対策経営指導事業	①コロナ禍により経営に影響を受けている事業者に対し、資金面をはじめ経営全般に係る支援を行うため専門家による相談会を実施する。 ②③経営相談会開催に伴う経営コンサルタント委託料(10日)44万 ④中小企業診断士	440	R2.4	R2.9	440	440	産業振興課	①経営に関する相談会開催 10回 ②コロナ禍により経営に影響を受けている事業者に対し、資金面をはじめ経営全般に係る相談会を行い、専門家による支援ができた。
3	宿泊施設支援給付金事業	①②宿泊施設を有し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い売上げが減少した事業者へ支援金を給付(旅館50万円、ペンション・ロッジ等30万円) ③旅館2件×50万円、ペンション等10件×30万円 ④事業者	4,000	R2.4	R2.5	4,000	4,000	産業振興課	①旅館2件、ペンション等10件 ②新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い売上げが減少した宿泊等事業者を支援することができた。
4	飲食店新型コロナウイルス感染拡大防止対策給付金事業	①②飲食店を有する事業者のうち、テイクアウト、感染拡大防止対策に取り組んだ者に支援金を給付(1事業所30万円) ③飲食店31社×30万円 ④飲食店を有する事業者	9,300	R2.4	R2.6	9,300	8,391	産業振興課	①テイクアウト、感染拡大防止対策取組事業者への支援 31件 ②テイクアウトや感染拡大防止対策に取り組んだ飲食店を支援することができた。
5	農林水産物製造加工事業者経営維持給付金事業	①②緊急事態措置等に伴う宿泊業・飲食業の売上の落ち込みに合わせて、受注が減少した事業者(町特産品の農産物加工製造業者)へ給付金を支給(1事業者20~30万円) ③対象事業所13事業者×30万円 ④事業者	3,900	R2.4	R3.3	2,300	2,000	産業振興課	①農林水産物製造加工事業者への支援 8件(200千円×1件 300千円×7件) ②緊急事態措置等に伴う宿泊業・飲食業の売上の落ち込みに合わせて、受注が減少した事業者(町特産品の農産物加工製造業者)を支援することができた。
6	経営継続支援金事業	①②緊急事態措置等に伴い売上等が減少した事業者へ経営継続のための支援金を支給(減少率に応じて30万円と20万円) ③対象事業所50社×30万 50社×20万 ④事業者	25,000	R2.6	R3.3	9,500	9,000	産業振興課	①売上等が減少した事業者への支援 34件(200千円×7件 300千円×27件) ②緊急事態措置等に伴い売上等が減少した事業者へ経営継続のための支援金を支給することにより、事業者を支援することができた。
7	子育て世代応援給付金事業	①学校臨時休業・保育園登園自粛により、負担が増加している子育て世帯の生活を支援 ②③対象児童(0才~現在の高校3年生まで)1,443人に対し、1人当たり1万円給付 ④子育て世帯	14,430	R2.4	R3.3	14,350	13,296	こども課	①給付金の支給 1,435人 ②学校臨時休業・保育園登園自粛により、負担が増加している子育て世帯の生活を支援することができた。
8	学校給食費無償化事業	①学校臨時休業が続く中、負担が増加している子育て世帯の生活を支援するため、給食に係る経費を町が負担する。 ②③小学校給食食材費:520人×180円×205日=19,188,000千円、中学校給食食材費:250人×210円×200日=10,500,000千円 ④地方公共団体	29,688	R2.4	R3.3	25,925	25,000	こども課	①小学校対象児童 520人 16,435千円 中学校対象生徒 250人 9,490千円 ②新型コロナウイルス感染症で影響を受けている子育て世帯の負担軽減を図ることができた。
9	災害時避難所における公共的空間安全・安心確保事業	①災害時避難所における「三密」を防ぎ新型コロナウイルス感染症の感染拡大とプライバシーに配慮するため、パーティション、シート等を整備する。また、災害時に避難所として利用を予定していた地域の集会所等のスペースでは、三密を回避した対応が困難であることから、新たに増設するスペース等の確保が必要であり、あわせて、一時的に感染が疑われる症状がある者を受け入れた際、停電時に暗闇や電源がない状態では感染症に対応した受入れや対策が行えないため、小型の持ち運び可能な発電機を整備する。 ②避難所感染予防設備経費 ③・パーティション等(260張)=6,182千円 ・体温計=372千円 ・発電機(10機)=2,365千円 ・ブルーシート=111千円 ・ライト・コードリール=550千円 ・マスク、フェイスシールド、消毒液等=365千円 ④町内避難場所・避難所	9,945	R2.6	R2.10	6,974	4,662	総務課	①・パーティション等(120張)3,242千円 ・非接触型体温計(38個)372千円 ・発電機(10機)2,365千円 ・ブルーシート(400枚)111千円 ・ライト・コードリール(20台)550千円 ・マスク、フェイスシールド、消毒液等 334千円 ②避難所における感染症対策に必要な資機材を購入し、災害に備えることができた。
10	新型コロナウイルス感染拡大防止事業(小・中学校)	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校における3密対策を実施し、安全な環境の中で学習の継続を図る。 ②③ ・サーモグラフィカメラ、モニター設備1台990,000円、ハンディ型サーモグラフィ1台150,700円 ・換気用網戸設置費用2,321,000千円 ・更衣用仕切りカーテン設置費319,800円 ・電子黒板2台×525千円×1.1=1,155,000円 ・体育館用ビッグファン3台×54千円×1.1=178,200円 ・パーティション3枚×15.8千円×1.1=52,140円 ・消毒用アルコール10缶×5.2千円×1.1=57,200円 ・マスク、フェイスシールド等消耗品100,100円 ・ガス乾燥機1台149,930円 ④佐久穂小中学校	5,474	R2.9	R3.2	4,626	1,225	こども課	①・サーモグラフィカメラ、モニター設備1台990千円 ・ハンディ型サーモグラフィ1台150千円 ・換気用網戸設置費用1,419千円 ・更衣用仕切りカーテン設置費80千円 ・電子黒板2台1,155千円 ・体育館用ビッグファン3台178千円 ・ガス乾燥機1台149千円 ・パーティション、消毒用アルコール、マスク、フェイスシールド等消耗品505円 ②公立小中学校において、新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な物品や環境を整備することができた。

No.	交付対象事業の名称	【実施計画事業概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施計画	事業 初期	事業 終期	総事業費	うち臨時	担当課	【効果検証】 ①実施状況・成果 ②評価	
			計上事業費				交付金			
11	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業等緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、小中学校の児童生使用パソコン端末(1人1台)及びネットワーク環境を整備する。 ②③ ・タブレット端末代(3人に1台分) @90,101円×248人=22,345,048円 ・タブレット端末代(3人に2台分)国庫補助額不足分 @ (90,101円-45,000円)×492人=22,189,692円 ・タブレット端末代(先生、支援員、予備分) @90,101円×41人=3,694,141円 ・充電保管庫代国庫補助額不足分 5,792,028円-2,681,000円=3,111,028円 ・Wi-Fi環境整備費用2箇所361,200円 ・パソコン教室フィルタリング費用158,400円 ・通信機器(ルーター)整備国庫補助額不足分@ (10,780円-10,000円)×60台=46,800円 ④佐久穂小中学校	51,906	R2.6	R2.12	51,681	46,553	こども課	①公立小中学校 タブレット端末 781台 51,116千円 ・Wi-Fi環境整備 361千円 ・その他経費 205千円 ②公立小中学校において、タブレット端末やWi-Fi環境を整備することにより、新型コロナウイルス感染症により臨時休業や自宅待機となっても、オンライン授業等で対応できる環境を整備できた。	
12	新型コロナウイルス感染拡大防止事業(保育園)	①保育園における新型コロナウイルス感染拡大防止のため、備品を整備し、安全な環境の中で保育の継続を図る。 ②③ ・栄保育園非接触型体温計6個、残留塩素測定器1台等=81,390円 ・海瀬保育園非接触型体温計5個、園児用机5台等=170,892円 ・八千穂保育園非接触型体温計7個、園児用机7台、園児用椅子15脚等=550,605円 ④栄、海瀬、八千穂保育園	802	R2.9	R2.12	802	800	こども課	①非接触型体温計 18個 160千円 ・残留塩素測定器 1台 15千円 ・園児用机 12台 318千円 ・園児用椅子 15脚 274千円 ・手指消毒用アルコール 35千円 ②公立保育園において、新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な環境を整備することにより、感染拡大の防止ができた。	
13	新型コロナウイルス感染拡大防止事業(こどもセンター)	①こどもセンターにおける新型コロナウイルス感染拡大防止のため、設備を整備し、安全な環境の中で保育の継続を図る。 ②③ ・エアコン設置等に係る経費8,228千円 (空調設備「7台」設置直接工事費7,678千円、設計管理費等550千円) ・ブルーライト殺菌機@24,200円×3台=72,600円 ④こどもセンター	8,300	R2.9	R3.3	8,300	8,300	こども課	①・エアコン設置等 8,228千円 ・ブルーライト殺菌機3台 72千円 ②子どもセンターにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な空調設備と殺菌機を整備することにより、センターでの感染拡大を防止することができた。	
14	応援チケット発行事業	①購入額にプレミアム分を上乗せした町独自の応援チケットを発行し、地域経済再生のきっかけを創出する。 ②7,500円の応援チケットを5,000円で販売し、その差額(プレミアム分50%)及び事業執行に係る事務費 ③応援チケット発行部数 5.49万冊(1人6冊×7,500人)+(3冊×3,300人)とし、そのプレミアム分として137,250千円(2,500円×5.49万冊) ・事務費:印刷代8,358千円、委託料693千円、人件費(会計年度任用職員)409千円、郵送料等984千円、需用費等179千円 うち、県補助金30,198千円を充当、販売収入274,500千円 ④町民	422,373	R2.8	R3.7	408,924	90,139	産業振興課	①商品券発行総額 400,462千円 内販売冊数 44,007冊 内給付冊数 9,388冊 加盟店数 177店 ②プレミアム率50%の商品券を発行することにより、地域経済の活性化につながり、町内事業者の支援と町民生活の下支えができた。	緑越事業
15	応援チケット配布事業	①コロナ禍で影響を受けている非課税・子育て世帯等の生活支援を行うため、町内の小売店等で利用できる応援チケットを支給する。 ②支給する応援チケット(3冊/人)とその事務費 ③5,000円×3冊×3,300人=49,500千円 ・事務費:人件費(会計年度任用職員)703千円、郵送料等653千円、応援チケット発行システム委託料308千円 ④子育て、非課税世帯等	51,164	R2.8	R3.4	48,368	47,698	健康福祉課	①給付冊数 9,388冊 46,940千円 申請者:1回目(2冊) 3,127人 2回目(1冊) 3,134人 ②コロナ禍で影響を受けている非課税・子育て世帯等に、対象者一人3冊の応援チケット(1冊7,500円)を給付することで、対象となった世帯の経済的負担を軽減し生活を支援することができた。	
16	町議会各委員リモート開催のための情報機器整備事業	①新型コロナウイルス感染リスクを抑えた中で議会各委員会を開催するため、リモート会議に必要な情報機器を整備する。 ②③ ・情報機器端末 15台×150,000円×1.1=2,475千円 ・会議システムライセンス使用料 =756千円 ④地方公共団体	3,231	R2.9	R3.2	2,475	2,475	議会事務局	①タブレット端末整備 15台 ②タブレット端末を整備し、オンライン会議を開催することで、新型コロナウイルス感染リスクを抑えた中で議会運営を行うことができた。	
17	ブルーブランド化支援事業	①新型コロナウイルスにより低迷している暮らしと経済を立て直す事業の一つとして、佐久穂町の特産品であるブルーのブランド化を図るため、独自の基準(糖度・硬度・酸度等)を満たしたものを出荷できる機器を整備(果実非破壊測定器を町で購入し、農家に貸与)する。基準を満たした商品をプレミアムブルーとして販売することにより、新たな販路開拓、農家の収入増・経営継続、さらには栽培農家の増加に向けた環境づくりを支援する。 ②③ ・果実非破壊測定器@550,000円×3台=1,650千円 ④地方公共団体	1,650	R2.9	R2.11	1,650	1,650	産業振興課	①果実非破壊測定器 3台 ②新型コロナウイルスにより低迷している暮らしと経済を立て直す事業の一つとして、町の特産品であるブルーのブランド化に対し支援を行うことで、新たな販路開拓、農家の収入増・経営継続、さらには栽培農家の増加に向けた取り組みを支援できた。	
18	花卉町内飲食店等装飾展示事業	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、花卉の市場価格の低迷が続いている。町内花卉生産者の生産意欲維持と経営安定化を図るため、町が定期的に花卉を買い取り、町内飲食店等に花を配布し、展示してもらう。 ②③ ・配布する花卉代@100円×1,000本×5回=500千円 ・チラシ作成=55千円、・配送委託料=45千円 ④町内花卉栽培農家	600	R2.9	R3.3	544	544	産業振興課	①花卉装飾展示店舗 38件 出荷農家数(アルストロリア・カーネーション) 34件 ②町が町内花卉生産者から定期的に花卉を買い取り、町内の飲食店等に配布して展示してもらうことで、コロナ禍により市場価格の低迷が続いている生産者の意欲維持と経営安定化に寄与するとともに、飲食店利用者等に町の特産品をPRすることができた。	
19	森林整備のための施業安全性効率化事業(つる切り施業)	①新型コロナウイルス感染拡大に伴う材木の需要低迷により伐採が行えず、雇用維持が困難となっている。伐採に代わる森林整備業務を行い、町内林業事業者の雇用の維持確保を図る。 ②③森林整備にかかる経費 つる切り施業@42,747円×109.95ha×2人×1.1=10,340千円 ④町内林業事業者	10,340	R2.9	R3.3	10,340	10,340	産業振興課	①つる切り施業面積 109.95ha 関係事業所数 3社 ②伐採に代わる森林整備業務を行うことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴う材木の需要低迷により伐採が行えず、雇用維持が困難となっている町内林業事業者を支援することができた。	

No.	交付対象事業の名称	【実施計画事業概要】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	実施計画	事業 初期	事業 終期	総事業費	うち臨時	担当課	【効果検証】 ①実施状況・成果 ②評価
			計上事業費				交付金		
20	流通木材の買い控えに伴う立木販売事業からの転換(森林整備事業)	①新型コロナウイルス感染拡大に伴う流通木材の買い控えにより立木販売が行えず、雇用維持が困難となっている。立木販売に代わる森林整備業務を行い、町内林業事業者の雇用の維持確保を図る。 ②③森林整備にかかる経費 皆伐地拵え事業費@1807.5千円×4ha×1.1≒7,953千円 ④町内森林事業者	7,953	R2.9	R3.3	7,953	6,073	産業振興課	①皆伐地拵え事業面積 4ha 関係事業所数 1社 ②伐採に代わる森林整備業務を行うことで、新型コロナウイルス感染拡大に伴う材木の需要低迷により伐採が行えず、雇用維持が困難となっている町内林業事業者を支援することができた。
21	公共的空間安全・安心確保事業(生涯学習館)	①生涯学習館来館者の発熱者早期発見による感染症拡大防止対策を図るため、機器を設置する。また、密を避けて大ホール(メリアホール)で開催するイベントを鑑賞できるよう、施設内の各所にモニターを設置する。さらに、屋外での活動を積極的に進めるよう、サンシェード型テントを配備する。 ②③ ・サーモグラフィカメラ1台990千円 ・液晶モニター5台×125,400円=627千円、変調器(館内デジタル自主放送設備)及び設置工事費等 501千円 ・サンシェードテント密封型 9,000円×10個×1.1=99千円 ④生涯学習館	2,217	R2.9	R3.3	2,217	1,228	生涯学習課	①・サーモグラフィカメラ1台 990千円 ・液晶モニター5台 1,127千円 ・テント10個 100千円 ②生涯学習館の入口に機器を設置することにより、発熱者を早期発見する環境を整備することができた。また、密を避けて活動や鑑賞を行うためのモニター等を整備することにより、コロナ禍であっても各種活動を中止せずに実施できる環境を整備できた。
22	図書館パワーアップ事業	①図書館内の選書による時間の短縮を図ることにより、密になるのを防ぐため予約システムを整備する。 ②③ ・予約システム環境導入費968千円 ④図書館	968	R2.9	R3.2	968	968	生涯学習課	①予約システム環境整備費 968千円 ②図書館の予約システムを導入することにより、図書館内の選書による時間の短縮を図ることができ、人との接触や密になることを防止することができた。
23	生涯学習館Wi-Fi環境整備事業	①感染予防対策として行うリモート教室などのためのフリーWi-Fiを整備する。 ②③ ・インターネットWi-Fi設備工事1,760千円(無線アクセスポイント10台435千円、スマートスイッチャー3台124千円、ケーブルアンテナ配線工事費等1,201千円) ④生涯学習館	1,760	R2.9	R2.11	1,754	1,754	生涯学習課	①フリーWi-Fi整備 1,754千円 ②館内全域でWi-Fiが利用できることにより、コロナ感染予防として、オンライン会議やリモート教室などが開催できるようになった。
24	町内企業等感染症リスク管理支援事業	①企業等における感染症リスク管理を支援するため、町内事業所に勤務する者で、出張による営業活動に従事する者、及び町外からの来訪者で、合宿、静養、教育実習、研修等で町内に一定期間滞在する者のうち無症状者に対し、抗原検査料を補助する。 ②町立千曲病院で行う抗原検査料を補助 ③抗原検査料@8,500円×660人=5,610千円 ④抗原検査実施者	5,610	R2.8	R3.2	5,994	3,631	健康福祉課	①抗原検査数 686件 ②町立病院による医療用の抗原検査料を補助することで、町内における感染予防を図り、不安の軽減と事業者の継続を支援することができた。
25	自殺対策リーフレット配布事業	①新型コロナウイルス感染症に起因する生活不安・経済不安等から心理的に追い詰められ、自殺に至る者を減らすため、情報提供としてリーフレットを配布する。 ②③ ・自殺対策リーフレット代@38円×4,000冊×1.1=167,200円 ④町	167	R2.8	R2.9	167	167	健康福祉課	①自殺対策リーフレット 全戸配布 ②新型コロナウイルス感染症に起因する生活不安や経済不安等から心理的に追い詰められている者やその家族に情報提供としてリーフレットを配布することで、啓発活動が実施できた。
26	感染拡大防止事業(避難所・ボランティアセンター)	①災害時に住民が密集を避けて避難できるようにするため、町の高齢者福祉施設「ふれあい」に非常用発電機(広範囲対応型)を新たに設置し、避難可能な室数を2室から5室へ増加させる。 ②③可搬型発電機(三相 4線式 45KVA タンク搭載型)設置工事に係る費用 10,318千円(発電機関係9,658千円、設計委託料660千円) ④高齢者福祉施設「ふれあい」	10,318	R2.8	R3.3	10,318	10,232	健康福祉課	①可搬型発電機設置 高齢者福祉施設 ②災害時に住民が密集を避けて避難できるようにするため、町の高齢者福祉施設「ふれあい」に非常用発電機(広範囲対応型)を新たに設置することで、避難可能な室数を2室から5室へ増加するとともに、福祉避難所を補う緊急対応が可能となった。
27	感染拡大防止事業(学校避難所)	①災害時に住民が密集を避けて避難できるようにするため、佐久穂小中学校に非常用発電機(広範囲対応型)を追加設置し、新たに教室27室を避難が可能な場所とする。 ②③非常用自家発電設備(校舎内電灯コンセント同時使用率30% 発電機500KVA)工事に要する費用102,080千円(発電機49,863千円、土工基礎等5,500千円、受変電改修11,000千円、幹線工事5,500千円、給油配管工事3,300千円、諸経費等22,847千円、設計管理委託4,070千円) ④佐久穂小中学校	102,080	R3.1	R4.2	95,446	82,416	こども課	①非常用自家発電設備 佐久穂小中学校 ②災害時に住民が密集を避けて避難できるようにするため、佐久穂小中学校に非常用発電機(広範囲対応型)を追加設置し、新たに教室27室を避難が可能な場所とすることができた。
合計						738,716	386,038		

繰越事業